



本書は製品を安全に使用するための禁止事項と設営方法を記載しております。使用前に必ずお読みください。また必ず製品とともに保管してください。

⚠ 警告

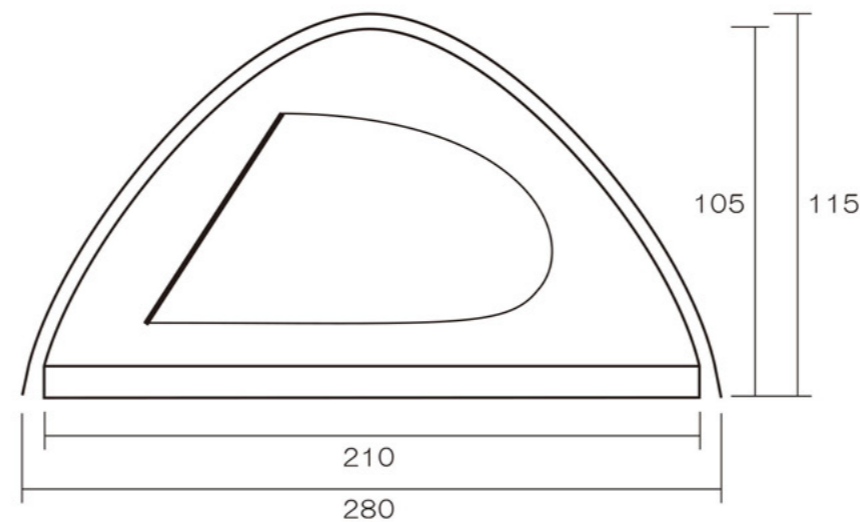
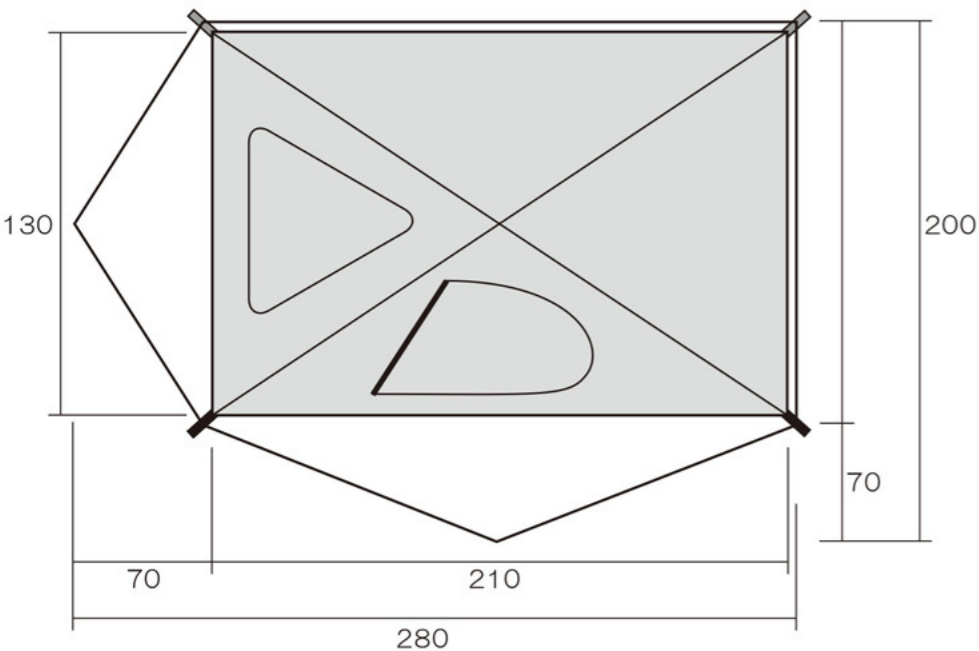
- 出入り口が完全に閉まった状態で使用すると酸欠による事故の可能性があります。必ず定期的に換気をしてください。
- テント内で火気は絶対に使用しないでください。
- 台風、暴風雨の際は絶対に使用しないでください。
- 使用中は天候の変化に注意し突風や豪雨、雷などの悪天候が予測される場合は使用を中止しすみやかに撤収、安全な場所へ退避をしてください。

⚠ 注意

- 快適なキャンプのために製品の破損や付属品の不足がないことを確認してから使用してください。
- 必ず周囲の安全を確認し広い場所で組み立て使用してください。特にお子様がいる場合はフレームがぶつかったりしないよう十分にご注意ください。
- 設営及び撤収の際は手袋等を着用し、安全に作業をしてください。
- 説明書に従いすべての張綱を確実に固定した状態でご使用ください。
- 通常の生地よりは綿混紡で火の粉による穴があきにくい素材ですが、防炎加工ではございませんので火の粉の飛び散りにはご注意ください。
- テント内と外気の温度差、使用人数が多い場合は結露が生じテント内に水滴が付く恐れがあります。
- 製品に使用している素材は使用頻度に関わらず温度、日光、湿度などの環境要因により徐々に劣化します。
- お客様による製品の改造、誤った使用方法による事故や故障につきましては一切の対応をお断りいたします。
- 常設用ではありません。直射日光の常時当たる環境でご使用となる場合は褪色や生地劣化が進み短期間で製品寿命となる場合があります。
- 砂地や河原など付属のベグで固定が不十分な場合は、別途設営場所に合わせた市販のベグをご用意ください。

メンテナンス、保管上の注意

- 使用後は汚れを良く落とし、乾燥させてから収納、保管してください。
- 濡れたままや汚れたまま収納保管すると、カビや臭いの発生、色移り、生地劣化を早めます。
- 製品の破損、故障についてはご購入いただいた販売店までご相談ください。



セット内容

- フライシート × 1
- インナーテント × 1
- ポール × 2
- エマージェンシーポール × 1
- ペグ × 12 本
- 自在付き張綱 × 4 本
- 収納バッグ（ポール用、アクセサリ用含む） × 3

製品サイズ（約）:

インナーサイズ：210×130×（h）105cm
 フライシートサイズ：280×220×（h）115cm

製品重量（約）:

フライシート：1035g
 インナーテント：813g
 ポール：458g
 アクセサリ：108g（張綱・ペグ）
 収納バッグ：102g

総重量（約）：2,516g

素 材

- フライシート：ナイロンリップストップ40D シリコン/PU 耐水圧2,000mm
- インナー本体：ナイロンリップストップ20D
- インナーフロア：ナイロンリップストップ70D シリコン/PU 耐水圧3,000mm
- ポール：DAC製アルミポール、Φ9mm

発売元 **株式会社カンセキ**
 〒321-0158
 栃木県宇都宮市西川田本町 3-1-1

MADE IN VIETNAM

設営方法

設営前アドバイス

フライとインナーの接続をあらかじめ行っておくと、設営が非常に簡単に行えます。
キャンプに出かける前に一度設営してみる事をオススメします。
設営後、収納の際はインナーをつけたまま収納してください。
次回からはポールを通すだけで簡単にセットアップできます。

1 設営前の確認

- 石や炭などが落ちていないか御確認ください。
- 石はテントを傷める原因となりますので、必ず取り除いてください。

2 インナーとフライを接続します

フライ、インナーそれぞれの入り口の向きを確認し、フライをインナーの上に重ねます。



四隅のトグルを接続します。



3 ポールをセットしフライを立ち上げます

フライシートのポール差込口のつけ根にある黄色のベルトを最大限に伸ばしてください。



ポールを組み立て、スリーブ入口から差し込みます。
ポールスリーブの反対側は袋状の行き止まりになっています。
ポールの先端が行き止まりに接触するまで差し込んでください。



ポールの端を握り、黒いエンドキャップにポールの先端を差し込みます。
ポールがしなるよう押しながら差し込んでください。
もう1本のポールも同じようにセットすると、フライシートが立ち上がります。



4 インナーテントを立ち上げます

手が届きにくい奥下のトグルからテントとフライを接続してください。
セットする前にインナー入り口をあけてインナーボトムにひざをついてセットすると奥のトグルも楽に作業ができます。



ポール先端の黄色いテープを引きテンションをかけ張り綱をセットすれば完成です。



背面のペグポイントは必ずペグダウンしてください。
インナーとフライが接触してしまい雨がにじんでくる場合があります。

